

日本語日本文化学科ゼミ説明会

日本語日本文化学科では、4年間の学修の集大成として卒業論文を書くことになっています。課題が与えられるレポートとは違い、卒業論文では明確な問題意識のもとにテーマを設定し、研究した上で自己の主張を論理的なものにしなければなりません。3年次の「演習」科目はその準備段階として位置づけられ、テーマに即して資料を収集し、それを様々な角度から分析し、考察する方法を学びます。4年次の「卒業研究」は、主に各自の論文について個別に指導が行われますが、完成には何よりも自助努力が大切です。

この説明会におけるゼミとは、卒業論文の指導を受けるためのグループのことです。ゼミの担当教員の「演習」科目と「卒業研究」を履修することになります。したがって、学生は卒業論文のテーマの専門性によってゼミを選ばなければなりません。

ゼミの配属は、主に面談と「所属ゼミ志望書」によって決定されます。面談は、10月11日(月)以降に始まります。それまでに研究テーマを考えておきましょう。まず、そのテーマについて2人の教員と面談し、志望ゼミを2つ選んで下さい。次に、「所属ゼミ志望書」に第1、第2志望のゼミを明記し、志望理由と研究テーマなどを具体的に書いて提出して下さい。「所属ゼミ志望書」を提出しても、志望ゼミの教員と面談をしていなければ、「所属ゼミ志望書」は無効です。締切近くになると面談希望者が殺到し、面談が受けられなくなることがあります。なるべく早い時期に面談を受けて下さい。

なお、原則として1ゼミ当たり 11人程度として人数調整をするため、全員が志望ゼミに入れるとは限りません。今回の選考で所属ゼミが決まらなかった学生には、所定の人数を満たしたゼミを除いて再度選考を実施します。再選考の諸事については、該当者のみにTORA-NET PortalのWEBメールでお知らせします。確実にメールを受信できるように転送設定などを確認しておいて下さい。

❖所属ゼミ志望書 提出締切：11月9日(火) 正午

提出場所：人文学部事務室(25号館1階)前のメールボックス

❖ゼミ担当教員一覧

教員名	専門分野	研究テーマ
小森早江子	日本語学・日本語教育	第二言語習得／心理言語学研究
武藤 彩加	日本語学・日本語教育	現代日本語学／日本語教育
愛知 峰子	近代文学(主に明治期)	樋口一葉の文学／明治初期の文壇
岡本 聡	古典文学(主に江戸期)	木下長嘯子を中心とした近世初期文壇／異類歌合
本田 恵美	古典文学(主に平安期)	伊勢物語の生成と引用・享受に関する研究／古典教育
永田 典子	民俗学・伝承文芸	伝承文芸の形成と伝承
嘉原 優子	宗教学・文化人類学	民間信仰／神観念の研究
越川 次郎	民俗学	民間医療／民間薬／家伝薬

❖面談

- 10月11日(月)から始めます。詳しい日時は各教員の資料で確認してください。
- 日時によっては面談希望者が集中し、面談が受けられないことがあるかもしれません。事前にメールで面談の予約をしておくで安心です。各教員のメールのアドレスは、資料で確認して下さい。ただし、キャンセルなど面談予約の変更は必ず教員に連絡しなければなりません。
- 面談は各教員の研究室で行います。指定された面談日時でも、諸般の事情で教員が対応できない場合があるので、まず、ドアをノックして、面談が受けられるかどうか確認して下さい。面談が認められたら入室し、学籍番号、氏名を告げて、その後は教員の指示に従って下さい。
- 教員の研究室は以下の通りです。

25号館2階

北	越川研究室	本田研究室	岡本研究室	愛知研究室	小森研究室	武藤研究室	南
	杉本研究室	準備室	252A ゼミ室		252B ゼミ室		

25号館3階

北	(研究室)	(研究室)	(研究室)	嘉原研究室	永田研究室	(研究室)	南
	(研究室)	(研究室)	印刷室		(研究室)	253B ゼミ室	